



ハントンの通信

いつまで続くか
不定期発行
No. 016
16-90177

あけましておめでとーございませう。

新年といえは、この1年をどのようにするか、新しい事を始めたり、悪習慣をやめる年にしたり、自分を改革・改善した抱負や目標を考える人も多いです。お正月の空気が、そういった考えを巡らせるのにちょうど良いのかもしれないね。そんな中で先輩ステーションさんからこんな話を聞きました。訪問看護をしていると、支援者は「何か少しでも状況を改善できたら」と考えてしまうけれど、そうやって関わるのは、対象者に「今のあなたはダメだから、変わらなさい」とペケをつけている場合があるのではないかと。

看護師さんは生真面目な人が多くて、何か成果を出せる仕事をしなければと、思ってしまうがちです。例えばお部屋の状態を見かねて、掃除を提案したり一緒にやろうと促したりすることがあります。少しだけこう変えればもっと快適になるだろうに...と思ってしまう。衛生面も心配なので、「ちよっと片付けませんか、手伝いますよ」と提案するのは、場合によってはペケを付けたことになるのです。

医療者と患者という立ち位置で、看護師から「このようにしましょう」と言わ

れたら、患者さんは言うとおりにすることもあるでしょう。ハントンでもそのような場合もありますし、家族や他の支援者から、「看護師さんから説得してください」といわれることもあります。でも、ペケを付けられるのは誰でも嫌なものだし、退院した後も監視されているような気分になって、支援の手は入っているけれど孤立していくということがあるのだと思います。

精神科の訪問看護では、その人が孤立しないように支援することが大切だと感じます。相手を尊重した関係性の中で人間対人間として関わること、専門職としての関わりとのバランスが大切になってきます。

ヘルパーさんが家事をやってくれて、引きこもりにならないように通所先はココで、それからお薬はこうして...と病状が悪化しないように、再入院にならないように様々な支援が必要な方も地域にはいらっしゃると思います。そういう時の当事者はなんだか申し訳なさそうです。「私はたくさんの方が手助けしなければ、生きることができない程ペケなのだ」と心苦しい表情をしている場合が多いです。

腫物に触るようでもなく、気負わずに自然体でその人と関わる事は、支援者に人間の幅が求められます。その人の暮ら

しにマルを付けてともに過ごす時間を持つことでその人らしさを取り戻すことが出来るのだと思うのです。

目に見える成果は感じにくいですが、丁寧に考えた寄り添いをするを大切にしていきたいと考えています。

そんなハントンを、本年もよろしくお願い申し上げます。



Phot コナ

2017 あけましておめでとう

ハントンの年賀状の答え合わせ
ホームページでも掲載していますが、
年賀状クイズの答えです。

正解は6個でした。

正解：6個



Q：訪問看護の時間は30分ですか？

A：その人によって違います。

ハントンでは、40分～60分程度になることが多いですが、その人の状況によっても変わってきます。

作業所の人間関係で相談したいと長時間になるときもありますし、他人と関わるのがしんどい人は、15分とかの短い時間で済む場合もあります。

次の訪問先に影響が出ないように気を付けています。